

市民・職員からの意見収集状況

1. 実施概要

①アンケート調査

本計画の策定にあたり、基礎資料とするため、以下のアンケート調査を実施しました。
詳細については別冊報告書をご確認ください。

(1)小学生・中学生アンケート

対象	河内長野市内の小中学生
調査方法	各学校を通して依頼・WEB アンケート
実施時期	令和6年 7 月 8 日～7 月 25 日
有効回答数	461 件

(2)市民アンケート

対象	河内長野市民
調査方法	市 HP に URL を掲載した他、市役所や公民館に回答用紙を配架
実施時期	令和6年 6 月 28 日～8 月 19 日
有効回答数	429 件

②総合計画策定に向けたワークショップ、意見募集

市民や庁内の意見を計画策定に反映するため、以下のワークショップ及び作業部会を行いました。

(1)中学生徒会サミット

対象	河内長野市立中学校 生徒会役員
開催日時	令和 6 年 7 月 19 日(金) 13 時 30 分～15 時 55 分
参加者数	36 名

(2)市民ワークショップ

対象	河内長野市在住・在勤・在学の方
開催日時・場所	【第1回】 令和 6 年 8 月 25 日(日) 13 時 30 分～16 時 30 分 (キックス4階 イベントホール) 【第2回】 令和 6 年 9 月 21 日(土) 9 時 30 分～12 時 30 分 (キックス3階 大会議室 AB)
参加者数	【第1回】 32 名 【第2回】 43 名

(3)地域意見交換会

対象	市内団体代表者等
開催日時	【第 1 回】 令和6年 9 月 14 日(土) 14 時～16 時 【第 2 回】 令和 6 年 9 月 22 日(日) 14 時～16 時
参加者数	【第 1 回】 25 名 【第 2 回】 9 名

(4)作業部会

対象	庁内課長補佐級および係長職員
開催日時・場所	【第1回】 令和 6 年6月19日(水) 13 時～16 時 【第2回】 令和 6 年 7 月 4 日(木) 9 時～12 時 【第3回】 令和 6 年 7 月 31 日(水)13 時 30 分～16 時
参加者数	【第1回】 38 名 【第2回】 39 名 【第3回】 39 名

2. ワークショップ・意見募集実施内容

(1) 中学生徒会サミット

■ 中学生徒会サミットの様子

第1分科会から第4分科会に分かれ、テーマに沿って取組内容を議論しました。その後、市議会の議場で、分科会ごとに議論の結果を発表し、それぞれの発表に対する質疑・応答など、活発な意見交換を行いました。

■ 各分科会について

分科会名	テーマ
第1分科会	まちづくり・町おこし ～河内長野のPR企画について考える～
第2分科会	自然保護・環境問題 ～よりよい環境づくりについて考える～
第3分科会	こんな学校にしたい ～みんなが使いやすい学校について考える～
第4分科会	自慢できる河内長野 ～大人になっても住み続けたい河内長野について考える～

■ 具体的な発表内容

◆ 第1分科会

OSNSを使用して河内長野の魅力を広める

① 河内長野の観光スポットの発信

・関西サイクルスポーツセンター、光滝寺キャンプ場、天野山金剛寺、滝畑ダムを順に動画で発信する

② 学校活動内容の発信

・委員会活動の内容や、普段の学校風景を「＃(ハッシュタグ)河内長野」でタグ付けをして投稿する

【期待される効果】

・学校の雰囲気伝えることで、親世代に市内の子育てイメージや、情報を伝えられる

③ 河内長野の歴史クイズ

・河内長野にある沢山の歴史文化遺産について知ってもらうため、歴史クイズをSNSに投稿する

◆ 第2分科会

① 学校の清掃活動を増やすことで、地域の方と仲良くなる

・学校生徒と地域住民が、道具を使用して季節に1回ずつ通学路・校内を清掃する

【背景・目的】

・学校の周囲に樹木が多く、落ち葉等が登下校の邪魔になっている

② エシカル消費ポスターコンテスト

・市小中学生がエシカル消費について学び、奨励ポスターを描き、入賞作品をまちに掲載する

・地元の農家や商工業者、直売所の協力を得て、地元の野菜や特産品などを商品とする。

【期待される効果】

・エシカル消費を沢山の人に意識してもらうことで、地産地消がすすみ、燃料の削減・排気ガスの抑制が期待できるほか、食品ロスやゴミの削減等、自然環境の保護につながる

③ WWFへの募金活動とエコバッグ持参やペーパーレスの推進

【背景・目的】

・森林資源の伐採量が多く、地球温暖化につながっている他、森林にすむ生き物たちが絶滅している

【期待される効果】

・WWFへの募金により、森林の生き物の生息域の保護や、各国の苗植えなどの活動支援につながる

◆ 第3分科会

① 不登校生徒への配慮

・不登校の生徒だけで集まれる部屋をつくり、友達とゲームなどができるようにする

【背景・目的】

・「友だちと話す楽しさ」「勉強の楽しさ」「運動の楽しさ」など自分にあった楽しさを知ることが重要

② 学校に自動販売機を！

【期待される効果】

・熱中症に至る前に生徒自身が対応できるようにすることで、熱中症対策となる

・キースイッチ対応型の自販機であれば、災害時に無料で飲み物を飲むことができる

【懸念点と解決策】

・ゴミの回収等はクラス内で担当を決めるほか、ごみの分別を行うことで環境に配慮する

・金銭の貸し借りや、奢りが発生しないよう、ポスター等で注意喚起を行う

◆ 第4分科会

① 関西サイクルスポーツセンターの発展

・桃を使用した食べ物の販売

・サイクルスポーツセンターへのバスの本数を増やす

・こどもから高齢者を含めた幅広い世代に向けてアトラクションやイベントを刷新する

② 子育てセンターの建設と利用者増加に向けた取組

・親への募金活動や河内長野の木を使用し、子育てセンターを、広い畑や廃村に建設

・小学校・中学校で読まれなくなった本や玩具を寄付するほか、古着を寄付し、再利用する

・自然の良さを知るために河内長野の施設や自然に触れ合うことができるようなイベントをつくる

・壁に地図や英単語表を貼るほか、図鑑などを置くことで、自然学ができる環境にする

・来館者に、河内長野の木材が使われた色鉛筆などのグッズをプレゼントするほか、地元の食材を使い、親とこどもが一緒にご飯を作れるようにする

③ 自然を活かして新しい施設をつくる

・自然の多い河内長野に、近年人気が高まっているグランピング・キャンプ施設を作る

・河内木材のチップを敷き、落ちてもあまり痛くない、地面が熱くなりくいアスレチック施設に

・山間部の空き家を解体し、自然に囲まれた複合施設をつくり、SNSを通じて施設をアピールする

(2)市民ワークショップ

ワークショップ 内容	① データで河内長野市の現状を確認し、ターニングポイントを理解する ② 市の良いところをふまえながら、河内長野市が目指す「日本一」と、そのために必要な施策を考える
---------------	--

■ワークショップの様子

ワークショップの第1回、第2回とも、東京大学の三村教授にご登壇いただき、ワークショップを進行していただきました。

市民の皆様は、ご自身の生活を振り返り、グループで話し合いながら、前向きに河内長野市が目指す姿を考えました。

■ワークショップ結果(第1回・第2回)

◆出てきた日本一と、目指すための主な施策

★日本一徒歩圏で生活できるまち

- ・医療施設や教育施設、商業施設等の生活に必要な施設や無人電動移動手段を各住宅街に完備
- ・住宅環境の充実(自然環境の保全、文化施設の充実)

★中世に出会える日本一のまち

- ・河内長野市を舞台とし、楠一族を登場人物としたアニメ化やキャラクター・ゲームの作成
- ・中世遺産(烏帽子形城等)の整備や発掘・観光地化
- ・観光地化に向けたスタッフの雇用

★日本一安心安全楽しくて住みたくなるまち

- ・温故知新の考え方のもと、世代を超えて互いを尊重し合う
- ・自然の中での暮らしを大切に、災害対策を行う。

★日本一給食のカレーが美味しいまち

- ・農家と行政の連携(規格外材料の使用・農家との直接の契約)

★日本一あったかいITDX利用が進むまち

- ・回覧板や避難所に関する情報をデジタルで共有
- ・空き家情報を公開し、民泊・外国人活用・飲食店等の用途で活用を推進
- ・市広報によるSNS利用
- ・教育のデジタル化

★日本一おせっかいな人が多いまち(困りごとを解決する)

- ・挨拶・笑顔で近所の顔を知る

★生産者と消費者の距離を縮めることで、自給率を上げる

★日本一帰りたくなるまち

- ・環境保全・地産地消を進める

★コミュニティを維持する

- ・Uターン施策を強化し、婚活イベントを開催する

★日本一自由時間のあるまち

- ・リモートワーク環境や、ワーキングスペースを整備する
- ・スポーツ設備を充実する
- ・移動手段を整備する

★日本一気分転換できるまち

- ・豊かな自然を保全する
- ・既存スポットを発信する
- ・駅周辺を活性化する
- ・気分転換コンテストを開催する

★日本一市長選投票率の高いまち(80%)

- ・市政に関心をもつ・愛着づくりや、行政と市民のつながりづくりを行う

・子どもたちの教育を行う

- ・市民のチカラを活かす仕組みづくりを行う

★世界一奇才を天才に変えるまち

- ・自然豊かな環境において、高スペックな教育を行う
- ・アナログテーマパークを充実させる

- ・地元商材・アイディアを活かした製造販売を推進する

★日本一移住者の多いまち

- ・ブランド食品の開発や、スポーツの振興で、まちの魅力を上げる
- ・住環境を充実させる
- ・古民家の再利用を推進する

(3) 地域意見交換会

■ 地域意見交換会の様子

◆ 概要

自治会・まちづくり協議会の役員、福祉委員など、地域において様々な活動をされている住民の方々に
お集まりいただき、事務局からお示したテーマに関して「ふだん地域でされていること」「こういうこと
ならできるかも、と思っていること」「市と一緒に取り組んでみたいこと」を中心に、第1回は5つ、第2
回は2つの班に分かれてお話しいただきました。

◆ 話し合うテーマ

話し合うテーマとして提示したのは以下の10点です。一つ選んでじっくり検討いただいた班もあれば、
複数のテーマを選んだり、そこから発展させてテーマを設定してお話しいただいた班もありました。

- (1) にぎわいの創出(にぎやかな街にする、まちを活気づける)
- (2) 地域資源の活用(地域にある良いものを活かして、人を呼ぶ、市民が楽しむ)
- (3) 担い手不足の解消(地域活動の担い手を増やす) (4) まちの美化
- (5) 観光資源・地域の魅力PR (6) 安心と安全 (7) 子育て世代にもっと来てもらう
- (8) デジタル化 (9) つながりの創出・地域間連携 (10) 空き家に新しい人を受け入れる

◆ 当日の様子

普段から地域で様々な活動をされているため、地域の現状や取組について様々な情報を把握しておら
れ、具体的に実践的なご提案から、中長期的な展望まで、幅広いご意見をいただきました。市内の異な
る地域で活動をされている方々が意見交換をしたことで、地域間の情報共有にもつながったのではな
いかと思います。

■ 具体的なご意見

◆ 1日目 A 班

テーマ: にぎわいの創出・地域資源の活用

高野街道まつり復活したい。だんじりまつり継続。

普段の清掃活動をイベントにする。こどもも入れて5つぐらいのコースに分け、おみやげをつけて楽しく
できるように。

盆踊り おまつり的なことはほとんどどんどんやりましよう

休耕地が多い。市民の力で耕して安全な給食に使ってもらい、人を集めたい。

◆ 1日目 B 班

テーマ: デジタル化・地域資源の活用

美加の台の方がフェイスブックで発信されている「奥河内LOVE」が良い。こうした方の発信の仕方を研
究する。

「いちのいち」の導入など、回覧板、安否確認にもっとデジタルが使える
くろまろの郷の盆踊り、パレードなど、魅力の発信の仕方を研究したい
ほたる米・近くて深い奥河内、河内長野ブランドを押し出していきたい

◆ 1日目 C 班

テーマ: 担い手不足の解消

ボランティアがキーワード、他人のためにするだけでなく、自分のためにしている。

自治会活動そのものも担い手が少ない、転換期がきている。

活動をされる方がメリットを感じられるように。

負担を感じさせないように 最初の一步を踏み出せるように。

町会の中でも役員をする人がいない 私たちが輪をつくっていきたい。

デジタル化を進めて役員の仕事を減らす、組織を見直す、事業を減らす、分担していく。

◆ 1日目 D 班

テーマ: 賑わいの創出・子育て世代にもっと来てもらう

春まつり・秋まつりの成功例を聞いた。

人をどのように集めるか、キッチンカーなども有効

各地域でまつりをして、他のまちから(他市町村からも)来てもらいたい

子育て支援を進めてたくさん子どもたちが入ってくるまちにしたい。

◆ 1日目 E 班

テーマ: 地域資源の活用

高野街道、URの跡地の中央公園・サッカー場、高向神社、くろまろの郷、花の文化園などが地域資源。

看護学校も一つの地域資源だと思う。

地域資源がお互いに近くににあるのにアクセスが悪い

10月から市の実証運行で三日市からくろまろヘルトができる

交流人口が8万人ある。これが高向・三日市に広がると、資源が活用されていく

◆ 2日目①班

テーマ: 賑わいの創出・子育て世代にもっと来てもらう

乗合タクシーの運行をしている地域がある、坂がきつい地域なので、高齢化が進む中、途絶えないよう
継続したい。

交通の便が悪い。南海電車まではよいが、家まで距離がある バスなどの便が少なくなってきた。

タクシーもひろえない時代になってきている。これらを向上きに。

道路が弱い。交通の便が改善すると企業も進出してくるはず。従業員・資材運搬のため。

子育て世帯の支援＝高齢者にとっても住みやすい地域にすることだと理解している

◆ 2日目②班

テーマ: 持続可能なまちづくりに向けて

防災: 老朽化した橋の点検・公表、地域に根差した防災体制の確立、ハザードマップ作製

観光: 高野街道まつりの復活、市民祭りも復活、河内長野市のアピール動画を増やす

子育て: 予算を高齢者福祉から子育て関係へ、子どもを産み育てなくなるしくみづくり

市役所: 組織をシンブルに、営業意識を育てる

交通: 住宅地が傾斜地、高齢でバス停まで行くのが困難。住宅地での移動手段を考える。

美化・安全: ごみ捨て防止の条例をつくる。超大型車の通行を制限。

(4)作業部会

■作業部会の様子

幅広い年次・部署の職員が同じグループに集まり、自分の所属する部署で行っている施策を持ち寄りながら、今後の市の方向性について考えました。

①第1回作業部会

■ワーク内容

第1回 作業内容	【ワーク】 どんな日本一のまちを目指すか、そのために必要な施策を考えてみる ○河内長野のいいところをできるだけ沢山考えてみる ○河内長野のいいところから、河内長野が目指すべき「日本一のまち」を3つ考える ○3つのうち1つを選び、「日本一〇〇なまち」に向けて、市で何を行うことが必要か考えてみる
-------------	---

■第1回作業部会結果

◆出てきた日本一

- 日本一子育てにお金のかからないまち
- 日本一マイカーが無くて移動に困らないまち
- 日本一1人あたりの読書時間が長いまち
- 日本一デジタルデトックスができるまち(森の中などでデトックス)
- 日本一挨拶の数が多いまち(コミュニティ文化が残っており、防犯意識が高い)
- 日本一秘密基地を作れるまち(こどものみならず、大人も居場所を作ることができる)
- 日本一AIに負けない思考力が育まれるまち(人間の考える力を育む)
- 日本一24時間グルメを楽しめるまち(飲食店が充実している)
- 日本一英語を喋れることも多いまち
- 日本一まちの魅力を話せる人が多いまち
- (まちの魅力を理解している人が多く、英語を用いて海外の人にも伝えることができる)

- 日本一マッスルなまち
- (市民が健康で、まち全体が元気に。モックルの弟キャラとして「マッスル」を考案)
- 日本一パートナーと仲良くなれるまち
- (家族団欒の時間を多く取れ、気軽にこどもを預けることができる)

★日本一ぼっちゃりが多いまち
(おいしいものが多い。労働時間が長すぎず、ゆったり安心して健康に暮らすことができる)

★日本一こどもの夢がかなうまち

★日本一深く眠れるまち(健康で、騒音や光害がない)

★日本一EQ(こころの知能指数)が高いまち

★日本一公務員が暇なまち

★日本一ピンピンコロリができるまち

◆目指すための主な施策

★日本一ぼっちゃりが多いまち

(おいしいものが多い。労働時間が長すぎず、ゆったり安心して健康に暮らすことができる)

・新規就農、飲食店新規参入への支援や、民間と連携した BBQ 施設の整備

・皆が運動できる運動環境の整備

・職場までの公共交通や、テレワーク環境の整備

★日本一こどもの夢がかなうまち

・習い事への助成や、学校教育水準の向上、民間スポーツ指導者の活用によるクラブ活動

・スポーツ施設のこども利用料無料化

・職場体験の場づくり、キャリア教育や金融教育を実施

・共働きができる子育て環境、保育環境の充実、安心安全な子育て環境

・こどものキャリアモデルと出会える場所の構築

・起業支援

★日本一深く眠れるまち(健康で、騒音や光害がない)

・防犯・防災の推進

・騒音等の光害対策

・ウォーカブルなまちづくり、健康づくりの推進

・朝から学校に行きたくなくなるような教育の推進

・労働環境の整備によりストレスフリーな生活に

★日本一EQ(こころの知能指数)が高いまち

・公園を整備し、遊具を充実させる

・図書館の充実

・キャンプ場・アクティビティの充実により、多様な経験を可能に

・乳幼児期に親と接する機会を増やせるような子育て支援、子育て相談窓口の充実

★日本一公務員が暇なまち

・行政サービスの ICT 化の推進

・地域人材の活用や、デジタルコンテンツの導入による教員の負担軽減

・地域のつながりを強化することで、地域犯罪を減少・防災力を強化

★日本一ピンピンコロリができるまち

・シニア世代のウォーキングイベントや健康診断の促進

・DIY 支援や、地元産の野菜宅配を行って生活を充実

・公共交通の充実による外出促進

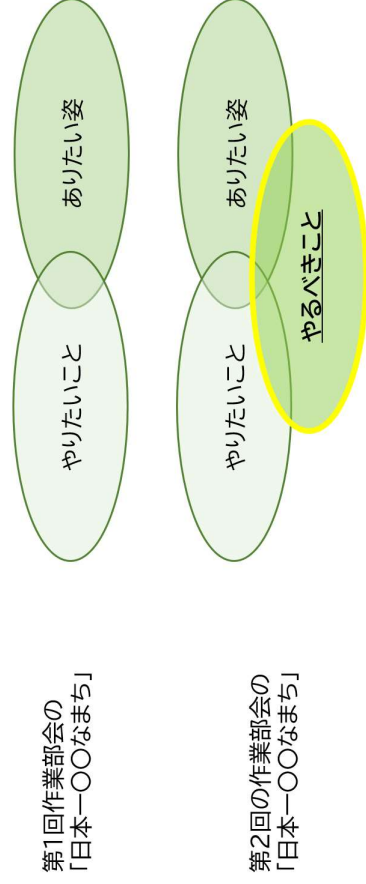
②第2回作業部会

■ワーク内容

第2回 作業内容	【ワーク】市が行っている施策から、どのような日本一を目指すか考える ○市が行っている施策を分類し、5 つ程度河内長野が目指すべき柱となる「日本一」を考える
-------------	--

■ワークの目的

第1回作業部会では、「やりたいこと」と、市として「ありたい姿」から、市が目指す「日本一」を考えました。
第2回作業部会では、「やりたいこと」「ありたい姿」に加え、「やるべきこと」を踏まえ、今後の市の施策の方向性の柱となる、「日本一」について考えました。



■第2回作業部会結果

◆出てきた日本一とその内容

A 班

- 日本一気を抜いて暮らせるまち(ハード面での安心)
- 日本一安らげるまち(ソフト面での安心)
- 日本一自然が近いまち(自然環境整備)
- 日本一心地よいまち(人とのつながり)
- 日本一中世に出会えるまち(歴史文化振興)

B 班

- 日本一こどもの夢がかなうまち(教育・子ども)
- 日本一暮らすのにちょうどいいまち(快適な生活環境)
- 日本一のほほんと安心して暮らせるまち(ハード面での暮らしやすさ)
- 日本一人にやさしいまち(ソフト面での暮らしやすさ)

- 日本一活力あるまち(商工業中心とした活力あるまちづくり)

C 班

- 日本一Hot(ホット)できるまち(安心を熱い思いで支える)
- 日本一お腹がグーとなるまち(給食を中心に、観光客を含めた皆が美味しい食事を食べられる)
- 日本一続々(ゾクゾク)とするまち(人とのつながり、コミュニティの推進)
- 日本一Good(ぐっ)くるまち(ぐっと心が楽しくなるよう、生涯学習などの推進)
- 日本一Shoot(シュット)するまち(綺麗で過ごしやすいまちづくり)

D 班

- 日本一EQの高いまち(こどもの育ち・教育)
- 日本一深く眠るまち(安心安全につながる施策)
- 日本一こどもの夢がかなうまち(子育て対策や観光・観光・商業)
- 日本一公務員が眠るまち(防災の強化やインフラ整備で未然に問題を防ぐ)
- 日本一生涯健康に暮らせるまち(高齢者施策・スポーツ施策)
- 日本一もっとできるまち(ブランド理念に関係。すべての施策に関連する)

E 班

- 日本一つながるまち(多文化共生・地域コミュニティ)
- 日本一強くて安心なまち(危機管理・防災、防犯)
- 日本一歴史を感じるまち(歴史文化遺産の保存、生涯学習)
- 日本一時の移り変わりを感じるまち(景観に関わる施策)
- 日本一未来に夢がもてるまち(子育て支援、児童福祉の推進)

F 班

- 日本一安心なまち(防災、救急、消防などの危機管理)
- 日本一市民が活発なまち(市を構成する市民が活力を持てるための施策)
- 日本一ちょうどいいまち(自然、アクセスしやすさを活かす)
- 日本一人が成長できるまち(人の成長で市が活発になる)
- 日本一つながるまち(地域福祉の推進や、地域における子育て)
- 日本一デジタルのまち(リモートワークや、適切な行政運営の推進)

③第3回作業部会

■ワーク内容

【ワーク】4つのコンセプトそれぞれで、どのようなまちを目指すのか考える	
第3回	○第 2 回の作業部会で各班が考えた柱を4つのコンセプトに分類したものを見ながら、それぞれのコンセプトでどのようなまちのすがたを目指すか考える
作業内容	○19の施策分野を4つのコンセプトに振り分ける

■ワークの目的

4 つのテーマに分類された第 2 回作業部会の「日本一」をみて、改めて市としてそれぞれのテーマでどのような姿を目指すべきか検討しました。テーマには敢えて名前を付けず、各グループで、市として重要な4つのテーマと目指す方向性を考えました。

【第 3 回ワークショップで用いた分類表】

テーマ①	テーマ②	テーマ③	テーマ④
■自然が近いまち ■心地よいまち	■安らげるまち ■気を感じて暮らせるまち		■中世に出会えるまち
■暮らしのちよよいまち ■人にやさしいまち	■安心して暮らせるまち	■活力あるまち	■子どもの夢がかなうまち
	■安心を伝える熱い思い ■シニアにしたいまちを 狙い撃ち	■人づながついて ソファにする ■ワグと暮らすまち	■日本一美味しいまち (給食・子ども食堂)
■EQの高さ ■公務員が暇	■ほっとできるまち ■深く眠れるまち		■子どもの夢がかなうまち ■生涯健康で暮らせるまち
	■強く安心なまち	■つながらず ■時の移り変わりを 感じるまち ■未来に夢が あふれるまち	■歴史を感じるまち
■ちよよいまち ■デジタルのまち	■安心なまち	■市民が ■つなげるまち	■人が成長できるまち

■第3回作業部会結果

◆目指すまちのすがたと分野の振り分け

★A 班

- ①綺麗で心地よいまち
(環境共生、街並み・景観)
 - ②市民が安心するまち
(防犯・防災、衛生、都市デザイン、健康医療、福祉、子育て)
 - ③人・地域・起業のつながりが感じられるまち
(共生社会、産業、観光、シティプロモーション)
 - ④歴史の中で成長を感じられるまち
(観光、スポーツ、青少年健全育成、学校教育、社会教育、歴史・文化)
- ★B 班
- ①暮らしのに丁度いいまち・ゆたかな自然がまもられているまち・どんな人にもやさしいまち
(共生社会、環境共生、行政運営)
 - ②安心安全なまち・メリハリのあるまち
(防犯・防災、街並み・景観、衛生、都市デザイン)
 - ③多様な立場の人がつながりあって活気がある・すべての人の居場所がある
(産業、観光、スポーツ、シティプロモーション・財源確保)
 - ④こどもが活き活きしている、市民みな活力がある、知る・学べる環境がある
(健康医療、福祉、子育て、青少年健全育成、学校教育、歴史・文化)

★C 班

- ①自然にきれいにしたい・ウオーカブルでバリアフリーなコンパクトシティ・漫画の舞台になるまち
(環境共生、行政運営、衛生、都市デザイン)
- ②落ち着いて住み続けられるきれいなまち・地域の支え合い、つながりが礎になっているまち
(行政運営、防犯・防災、財源確保、健康医療、福祉、子育て)
- ③市民が活気あるまちと感じられるまち・新しい事業をはじめたいと思ふまち・漫画の舞台になるまち
(共生社会、産業、観光、シティプロモーション)

★D 班

- ④こどもがいろいろな体験をすることで未来の選択肢が増えるまち・大人もいろんな学びができるまち・文化財や伝統を未来につなげる・Youtube や Tik Tok で大バズり
(スポーツ、青少年健全育成、学校教育、社会教育、歴史・文化)
- ★E 班
- ①人生のバリアフリーが実現できる
(共生社会、環境共生、行政運営、福祉)
 - ②市民が安心安全と感じられる・インフラ整備がされている
(防犯・防災、街並み・景観、衛生、都市デザイン、健康医療)
 - ③市民や企業が挑戦し、学び成長し続ける、できるまち
(産業、観光、シティプロモーション、財源確保、社会教育)
 - ④こどもがイキイキと成長し、一人ひとりの幸せが実現できるまち
(スポーツ、子育て、青少年健全育成、学校教育、歴史・文化)